

第 42 回定時株主総会質疑応答

質問 1 2019 年 3 月期の業績の下方修正は、競争事業の行幸啓案件の失注が要因とのことですが、原因・対策、今期の受注の実現性について教えてください。また、下方修正した売上高の下げ幅と比較して、営業利益の下げ幅が大きく見えます。競争事業と比較して、他事業の利益幅が少ないことが推定されますが、経営課題としてどのように捉え、利益幅を上げるためにどのような努力をされているかについて教えてください。

回答 1 競争事業の行幸啓案件失注の原因は、入札において金額で受注できなかったということになります。対策としては、セレスポの強みと優位性を活かして受注していく、即ち、入札からプロポーザルによる受注ができるようにしていくということです。その仕組の構築に取り組んでいます。今期については、既に当社が受注しています。また、競争事業案件の利益幅については、受注金額が大きく、金額の割に携わる社員数が少ないため非常に効率がよく、利益幅が大きくなります。一方で、他事業の案件については、案件ごとの粗利率を 30%以上確保するように 2018 年 2 月に稼働した新基幹システムを利用して利益管理を強化しています。

(回答者：田代専務)

質問 2 株主数の増加、流動性の向上策をどう考えているか。配当政策の中で、中間配当、株式分割の実施について教えてください。

回答 2 株主数については、2016 年 9 月まで 800 人程度でしたが、増やすために認知度を上げる努力をしてきました。個人投資家説明会等を地域が重ならないように開催都市を選定し、年間 6 回ほど開催しています。また、スポーツ事業では中央競技団体への協賛を行うことで、競技場のフェンスや選手インタビューの際に後ろのバックパネルに当社のロゴが出るケースも増えてきています。株式の流動性については依然不足していますが、以前と比較しますと増えてきています。配当政策については、中間配当・株式分割を実施してほしいという株主様からご意見があることは承知しており、状況を見ながら検討していきます。

(回答者：稲葉議長)

質問 3 四季報記載の 2020 年 3 月期予想の営業利益は 6 億 5,000 万円だったと記憶しているが、貴社の業績予想は 6 億円と 5,000 万円減少したのは何故か教えてください。

回答 3 当社の営業利益の予想は 6 億円であります。四季報は発行会社の予想を掲載していたものと思われま

(回答者：稲葉議長)

質問 4 イベント業の繁忙期間が続く中、社員や関係者への労働時間や安全・健康の確保のためにどのような取り組みをされているのか教えてください。

回答 4 イベント業の繁忙期間に社員や関係者の健康・安全第一を確保することは、非常に難しい課題です。4 月に働き方改革関連法案が施行され、1 つ目として、法令遵守の観点と、2 つ目として、法令を遵守しつつ、さらに社員等の健康・安全第一を確保するという観点があります。当社では、各部署で各人の仕事量をきちんと確認し合い、月中も仕事量を調整しながら平準化を図り、業務が偏らないようにしています。健康・安全第一を前提に、関係する協力会社の皆さんにもご協力をいただいています。これはという妙手はありませんが、持ち場・持ち場で工夫を凝らしながら、いろいろな働き方を研究しながら、1 つずつ前に向かって進めています。何よりも社員や関係者の健康・安全第一という軸はぶらさず、引き続き取り組んでいきます。

(回答者：堀貫取締役)

質問 5 新任社外監査役候補者の松井氏の略歴で、2011 年 9 月東京電力退社、同年に同じ東電のグループ関連会社に入社されているが、同年東日本大震災で原発事故があった時期状況について説明できる点がありましたら教えてください。

回答 5 説明はできないが、本人の資質を確認して、社外監査役候補者への選任を提案しています。

(回答者：稲葉議長)

質問 6 投資有価証券が 9,800 万円あるが、その内容について教えてください。スポーツやプロモーションを取扱うイベント関連で、しかもこれから大きく成長していく中で、社員の平均年齢 44 歳と高い印象を受ける。更に、従業員が年間 2

名程度しか増えていない。平均年齢はさらに上がっていくと考えるが、従業員が増えていない理由と、どのように考えているかを教えてください

回答 6 投資有価証券については、純投資の投資有価証券と政策保有投資の 2 種類があります。その内政策保有投資については、取引の円滑化のために保有している金融機関関連と経営の参考とするために保有しているイベント関連業界の株式があります。純投資の投資有価証券の中には、過去から保有している投資信託があり、そちらは機会を見て処分をしていく方向です。詳細については、有価証券報告書をご確認ください。

社員の平均年齢については、仰る通り、上がってきています。当社は、40 年数年前に創業し、その間、時期に応じて採用人数にバラツキがあって現在に至っています。新卒採用含めて大量に採用した時期もありました。その時期に採用した社員がかなり残っており大きな戦力になってきています。一方、ここ数年の新卒採用は、15～20 名の間で推移しています。昨今の売り手市場の中で、他社同様に厳しい面はあるものの、決して採用できていないということではありません。採用については 2021 年にピークを迎える中、新卒・中途採用も含めて、幅広く積極的に行っていきたいと考えています。

(回答者：堀貫取締役)

以上